



秋らしくなってきた盛りだくさん行事がある2学期がスタートしました。さて、この夏の研修会ではたくさんの「宝物」を見つけることができましたか？10月には第4回自前研修があります。一緒に「宝探し」をしませんか？

今号のわかたけは、県大会の報告、全国大会の研修報告、自前研修のご案内、学校財務ウィークのご案内、県事研のPRといった内容でお届けします。

☆第43回 高知県公立学校事務研究大会（四万十大会）報告☆

大会テーマ「学校事務で繋ぐ」◎平成23年8月8日（月）～9日（火）於：新ロイヤルホテル四万十

参加人数	8/8	8/9
安芸	2	2
香長	21	17
高知	26	22
高吾	54	37
幡多	54	51
県外	8	6
来賓・一般	2	0
合計	167	135

幡多支部の方の素敵な笑顔とあいさつで、気持ちよく研修を受けることができました。

高吾支部の全体研修も二つのスクリーンを使ったり、BGMがあつたりで楽しく研修を受けることができました。

ありがとうございました！

★会長あいさつ

先月の全事研総会の席で、全国から380万円を超える義援金が集まったと報告があり、被災された3県の支部長からお礼の言葉が述べられました。子どもたちの笑顔を守ることを使命として、教職員は手探り状態ながら、日々教育活動の充実に努めている、また、多くの義援金や励ましのメッセージが寄せられ、全国の仲間との絆を強く感じ、励みになったとの感謝の言葉が印象的でした。

さて、平成19年1月に「公立小中学校事務職員の標準的職務について」の通知が出されて5年目となりました。また、高知県の教育振興基本計画も策定されて、学校長のリーダーシップのもと、管理職と連携し、学校が組織として機能するシステムづくりが求められて、数年が経ちました。事務職員として、職務が確立され、学校経営に参画し、その役割を果たしているでしょうか。また、自分の学校だけではなく、県内すべての地域で学校事務の均質化を図り、質の高い安定した学校事務が実践されているでしょうか。これらの実現のためには、県や市町村教育委員会、管理職、教職員との課題認識の共有化と、連携が必要です。「学校事務で繋ぐ」を大会テーマとした本大会が、関係機関の皆様方のお力をいただき、課題を共有し、連携・協働することで、事務職員の職務を確立し、職として教育に貢献し、未来に繋がり、高知県の事務職員の絆が強く繋がる大会になるように願っています。

★講演「これからの学校と校長・教頭・事務職員 -知識基盤社会・成熟社会の学校-

講師：国立教育政策研究所 初等中等教育研究部

最初に「なぜこのテーマなのか？」という切り口から話が始まりました。「事務職員が事務職員のことを考えるだけはいけない、これからは、校長や教務主任などを巻き込んで、研修を行ったりすることが必要だ。職務も教頭先生と似ている部分があり、学校組織全体のことを考えながら仕事をする

ことが大事。」という話の後、これから事務職員がどう思考しながら仕事をしていけばいいのか、事務職員はなぜ学校に配置されているのか、それは学校のミッションを果たすためではないか、では、学校のミッションってなんだろう？と、ディズニーランドのミッションを参考に段階を踏みながら分かりやすく説明していただきました。

その後、学校に一人でいる、事務職員には相談できる人や真似る人が近くにおらず、職業人としてキャリアアップしていくことが難しいという話や、学校が地域の中でこういった役割を果たしていけばいいのかを話す中で、組織として学校全体で事務職員的能力を伸ばしていこうという話がありました。また、これからの学校は、地域の「思考力・表現力・判断力」の核となる、防災拠点としての役割を果たしていかなければならないという話もありました。

最後に「人間は役割を果たすことで幸せになる。これからは、職業人としての役割だけではなく、地域としての役割を果たし、それを子どもに伝える。【幸せになる。生きる。】ということは誰かの【役】で成り立っているということに感謝をしなければならない。役割をもらえることは幸せである。」という話があり、自分の仕事観を変えるとともに、組織の中で事務職員としてこういった役割を果たしていけばいいのかを考えさせられる講演でした。

★全体研修（高吾支部）

テーマ「教育課程と学校事務 ～「生きる力」をマネジメント！～」

高吾支部の全体研修は、学校事務職員と教育課程についての取組を、ベストセラー小説「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」にあてはめるといふ、斬新な演出から始まりました。研究大会の研究推進委員長に選ばれた「高岡みなみ」が、親友の「夕紀」のアドバイスを受けながら、新教育課程への移行をマネジメントしていく…というストーリーの中で、それぞれのブロックの研究発表が行われました。

《日高・加茂・佐川・越知ブロック》

事務職員の職務内容を明確化

学校のトータルプロデューサーを目指す（地域情報管理・危機管理等）

予算執行を計画的・意図的に行う（複数年にわたっての教材整備計画・教材の情報共有）

学習指導要領を理解し、事務部門から支援する

定型職員（ルーティンワーカー）⇒ 調整職員（コーディネーター）⇒ 企画職員（デザイナー）へ

《須崎ブロック》

各校の予算データの比較

（単価が分かるようにデータ化）

地教委への働きかけ（予算要求のヒアリング）

武道用予算検討委員会

《四万十町》

チームと継続力

（情報の蓄積と公開は教職員の不安を解消する）

四万十町学校事務の手引きホームページ

（教授活動関連のページも）

《土佐市》

財務に関する校内研修を再現

・修学旅行の費用に関する演習

・行事に関する予算も要求が必要

・備品を使いたいときに使える状態に整備しておく

校外活動ガイドブック



研究発表の後には、講師の先生がコーディネーターとなり、講師の方々からそれぞれ意見が出されました。

- 課長補佐・ 共同実施を中心に、チームで知識やノウハウを共有する
教育課程に向かって、学校をリサーチ（事務職員が目線で一緒に課題を共有）
- 校長先生・ 事務職員が何を指すのか、管理職に分かりにくい
定型的業務で満足している人と使命感を持ってやっている人の温度差
適正な事務処理・財務マネジメントによる経営参画・専門的知識としての支援
- 総括主任・ ひたむきに取り組む事務職員を「けなげJAPAN」と命名
求められている事務職員像を把握し創造していかなければならない

先生からは「全国大会くらいすごい」という感想もいただき、「マネージャーに必要な資質（真摯さ＝逃げないこと）を持って取組を続けていってほしい」という言葉でパネルディスカッションを終了しました。

★全体会（調査研究部）

テーマ「学校づくりと事務職員のかかわり ～あなたの柔軟度は？～」

助言者：国立教育政策研究所 初等中等教育研究部

教育課程と新学習指導要領について調査研究部からの提案のあと、「ワールドカフェ」によるグループ討議が行われました。

カフェのようなオープンな会場で対話を通じて知恵とアイデアを出し合うという形式で、グループで大きなダンボール紙を持ち合い、トーキングオブジェクト（ぬいぐるみ等）を持った人が話をして、聞いている人は気付いたこと等をダンボールに自由に書いていきます。昼下がりのカフェのようなBGMが流れるなか、「新学習指導要領を円滑に実施するためには～事務職員としてどのようにかかわっていくのか～」というテーマについて、和やかな雰囲気で行われました。

ワールドカフェ終了後には、「高知県はラテンのような楽しい県」という印象を持っていただいた先生からまとめと助言をいただきました。

「授業って分からない」という事務職員もいるが、今回のワールドカフェも授業である

これからの高知県に大切なこと

- ・ベテランの「質（思考と見る目）の深さ」を言語化する
- ・先輩が自らの歴史を語る
- ・他職種の理解を得る（事務職員の会に他職を呼び込む・他職の会に出向く）

「高知県の事務職員はとて真面目。真面目さとともにしたたかさも持って新しい制度を作っていてほしい」という先生のことばで全体会を締めくくりました。

★記念講演「四万十川方式発想の転換方法」講師：四万十ドラマ

四万十ドラマというのは何かの映像作成会社なのだろうかと思っていたのですが、お話を聞くにつれて、四万十という地域にドラマを与える会社なのだわかりました。地域に居るヒトやモノをいかに生かして、新しいものづくりをしていくのか。そこには熱い思いとこだわりがたくさん詰まっていました。

講演では、四万十ドラマによってプロデュースされた様々な加工品、そしてその周りを取り巻く生産者たち等の紹介を楽しそうにお話をされていました。その中で、新聞バッグの紹介とそれを発売するに至った経緯などを聞いている際に、曲げることのないこだわりや、あくまでも地域活性化のためという真っ直ぐな思いが伝わってきました。その働きかけは地域だけでなくやがて日本全体、そして世界をも巻き込んだという事実、驚かされました。

冒頭に述べられていた『商品売っているのではなく、考え方を売っている』という言葉が印象的で、発想の組み合わせに際限はなく、まさかと思う所に面白さを見出して本当に楽しくお仕事をされているのが、講演時の表情、声、身振り手振りから十分に伝わってきました。

少しの発想の転換で楽しさは何倍にでも膨れ上がる。私たち学校事務職員においても、マネジメント能力が問われる中で、非常に参考になりました。

研究大会終了後には紹介された商品をめぐりジャンケン大会も行われ、和やかな雰囲気で終わりました。

全事研からのお知らせ

全国学校財務ウィーク

県大会の資料にも「全国学校財務ウィーク」のポスターを入れていましたが、全事研では、社会に学校財務の重要性を認知していただき、学校財務への理解を深め意識を高めることを目的に、11月第1週を「学校財務ウィーク」とすることを提唱しています。

今年度も文部科学省をはじめ多くの教育関係団体の後援をいただき、子どもの生きる力をはぐくむために必要不可欠な学校教育環境のさらなる充実を求めて、学校財務の役割とその重要性を広く社会に喚起することを目的として実施されます。自治体、学校、地域、グループ、個人などでも多くの取組が行われますよう、ご協力をお願いします。

期間：平成23年11月1日（火）～11月7日（月）



～県事研のPR～

今回は「財務部」です。

財務部は、部長1名・副部長1名・部員6名の総勢8名で活動しています。研修会の日には、朝・昼・夕刻と大和なでしこ8名がしとやかに会費の集金をさせていただいております。

皆様からおあずかりした大切な会費については、県事研の有意義な活動のため、大切に執行させていただき所存でございます。会費の納入は24時間いつでもOK!!お支払いがまだの方は納入のご協力よろしくお願いいたします。

癒し系をモットーに、ほんわかまったりと活動している財務部です。最近、職場で心身ともに疲れているそこのあなた・・・大和なでしこ8名があなたの心を癒します。癒されてみたいという方は、是非是非一緒に活動してください。財務部はあなたの力を必要としています!!

～連絡先はこちらです～



たけのこのつぼやき

朝晩は涼しくなって来ましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
夏季休業中に旅行などに行かれ、2学期に向けてパワーを充電された方もいらっしやと思います。もうすぐそこに運動会が迫って来ました。

私が勤務する学校は、保・小・中合同の運動会になっています。今日は保育園児がとっても可愛く入場行進の練習をしている姿を見て、思わず職員室の中から見とれていました。2学期も忙しいですが、子どもたちの笑顔のパワーに頑張らしましょう!!

総務部



☆☆☆☆ 今号の担当は でした ☆☆☆☆